

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 441

事務事業名	道路新設改良事業	
基本目標	050201	機能的で環境と調和したまち
政策		道路網の整備と公共交通の利便性の向上
施策		道路網の整備
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	森 経一	内線	425

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計		
款	8	土木費	
項	2	道路橋りょう費	
目	3	道路新設改良費	
事業コード	020100	地方道路等整備事業	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	当該道路利用者・当該地区住民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	道路の構造改善、局部改良、狭小市道の拡幅改良等を行い、歩行者の安全確保と自動車交通の円滑化を図り、地域の人々の安全で快適な交通環境を確保する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内全域に存在する市道の内、部分的に狭い箇所や車の離合が出来ない狭い道路の局部改良及び拡幅改良を行い道路の構造改善を実施する。 市道線他48箇所 全体延長 L=16.8km 市内一円 拡幅改良、局部改良及び舗装補修		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営

成果指標名	市道の改良率			算定式等	市道改良延長/市道延長	
着手前現状値	平成 13 年度	単位	%			62.6
完了後計画値	平成 28 年度					67.2

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額	283,373	2,052	0	21,000	25,000	20,000	
	項目別進捗率							
用地・補償	実績・計画額	1,176,609	39,730	23,914	10,000	19,500	10,000	
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額	2,780,940	151,445	149,516	113,900	74,600	118,000	
	項目別進捗率							
事務費等	実績・計画額	62,482	1,090	1,688	2,000	3,000	2,000	
	項目別進捗率							
合計	実績・計画額	4,303,404	194,317	175,118	146,900	122,100	150,000	0
	項目別進捗率							

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	281,850	194,317	175,118	146,900	122,100	150,000	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債	210,500	174,800	160,100	132,200	109,800	135,000		
その他								
一般財源	71,350	19,517	15,018	14,700	12,300	15,000		
② 人件費(千円)	17,529	16,008	15,927	18,281	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	2.09	1.99	2.13	2.43	道路改良 1式			
時間外勤務(時間)	460	485	452	305				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	299,379	210,325	191,045	165,181				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度 拡幅改良 (6路線 着手延長L=443m 完成延長L=386m) 局部改良及び舗装補修 (4路線 着手延長L=626m 完成延長L=372m) 用地取得 (5路線 面積A=396㎡)
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	生活道路は市民生活に必要な不可欠なものであり、その安全性や利便性の向上を求める市民のニーズは年々高くなっており、市民生活向上のためにも必要不可欠である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	交通量の増加に伴う交通渋滞や交通事故の増加に対し、道路の構造改善、局部改良及び拡幅改良を行い、歩行者の安全確保と自動車交通の円滑化を図るため、早急な道路整備を行うべきである。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	生活道路の整備は、施策「道路網の整備」の一つの柱であり、必要不可欠な事業である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	公共工事については、コスト削減に努め実施しており、安全な道路整備を行う上では、構造上の削減は困難である。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし	見直しの余地あり		該当なし		
	現在、地方道路等整備事業債で事業を実施しているが、他の効率的かつ有効的な事業を検討していく。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市内全域からの整備要望については、整備順位基準に則り整備する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。